

第4学年2組 体育科学習指導案

平成27年10月23日 金曜日 4校時

第4学年2組（男子11名、女子15名）

指導者 重山 兼 滋

1 単元名 表現運動（表現：〇〇探検）

2 単元の目標（第3学年及び第4学年の2学年分） ※（ ）は第3学年で取り上げた内容

（1）テーマの表現の楽しさや喜びに触れ、表したい感じを表現したりリズムの特徴をとらえたりして踊ることができるようにする。 (技能)

（2）テーマの表現に進んで取り組み、だれとでも仲よく練習や発表をしたり、（場の安全に気を付けたりする）ことができるようにする。 (態度)

（3）テーマから自己の能力に適した課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 (思考・判断)

3 運動の一般的特性

表現運動は、自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没頭してなりきって踊ることが楽しい運動であり、互いのよさを生かし合って、仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

表現は、題材の特徴をとらえてひと流れの動きにして、即興的に踊る。その際、動きに差をつけて誇張したり、対応する動きを組み合わせたり、対極の動きを繰り返したりする。さらに、表わしたい感じや場面を中心に、感じの異なる動きや急変する場面をつなげて「はじめ」と「おわり」をつけて踊る。

4 児童の実態

（1）運動の特性に触れる楽しさ体験状況

本学級の児童は、朝や昼休みにドッジボールやなわとびを進んで行うなど体を動かすことが好きな児童が多い。しかし、室内で過ごすことが多い児童も数名おり、運動経験の面で個人差がある。1学期の体育学習では、体づくり運動、ゲーム（プレルボール）、浮く・泳ぐ運動に取り組んできた。体づくり運動では、友達と共に活動することで体を動かす楽しさや心地よさを感じている児童の姿が多く見られた。また、プレルボールでは、勝利を目指してチームで協力して運動を行う姿が見られた。

（2）態度、思考・判断に関する学習体験状況

1学期に行った体づくり運動、プレルボール、浮く・泳ぐ運動の学習では、友達と協力したりルールを守ったり、用具の安全を確かめたりすることを中心に指導してきた。最初は、自分の運動に精一杯な児童もいたが、友達と励まし合って頑張ろうとする姿や協力して用具の準備を進んで行ったりする姿が見られるようになってきた。また、授業の中で自己の課題解決のために工夫や方法を考えさせ、技能向上につながるように指導してきた。しかし、自己の課題を的確にとらえて、解決につなげられる児童は少ない現実がある。

(3) 技能運動の状況

児童は、1年生から3年生までの3年間で運動会に向けて表現やリズムダンスの学習を行っている。運動会で発表するという目的意識をもって、リズムカルに大きく動いたり、みんなで形を揃えたりすることができるようになってきている。しかし、個人やグループで題材を生かしたひとまとまりの表現を考えたり、作ったりすることについては経験が不足している。

また、本学級の26名中14名はスポーツ少年団や運動クラブに所属している。その中の1名はダンスを習っており日常的に表現する力を養っている。

(4) 体力の状況

5月に行われた新体力テストの結果は、全体として良い結果であったが、男子と女子で違いが見られた。男子は、「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」で前年の全国平均を上回ったが、「握力」では、全国平均を下回り、今後の取り組みべき課題となっている。

また、女子は、「握力」以外の種目で前年度の全国平均を上回っており、全体的に男子より女子の体力が高いといえる。

総合評価	男子	女子
A段階	2人	0人
B段階	3人	8人
C段階	2人	6人
D段階	3人	2人
E段階	0人	0人

(5) 児童の運動に対する思いや願い

本学級児童に表現運動に関してアンケートを取った結果、本学級の児童は、「空」「風」「星」「森」など自然を舞台に自分がそれになってみたいという気持ちや「鳥」などの動物になってそれらの気持ちを考えて表現したいという思いをもっている。また、「楽しい」「おもしろく」といった感情を表現したいと思っている児童もいる。

5 学習を進めるに当たって

南那珂地区では、「自他のよさを発見する・支える・伸ばす」を意識し12年間を見通した体育科指導に取り組んでいる。

そこで、本単元では、「支える」を意識し中学年の児童にとって興味関心が高い題材である空想の世界を取り上げて、中学年の発想を活かし、イメージを豊かに膨らませながら友達と励まし合って運動に取り組むことができるようにしたい。そのためには、題材の特徴をとらえ、ひと流れの動きにして即興的に踊ることや動きに差をつけて誇張すること、対応する動きや対比する動きを繰り返したり組み合わせたりできるようにする必要がある。そして、友達との関わりを大切に、グループで表したい場面を中心に「はじめとおわり」を付けた動きにして踊れるようにしたい。具体的な手立てとして、以下のようなことを行う。

(1) 教材との「かかわり」を大切に学習

- 見通しをもって学習できるように、学習計画表を作成し掲示する。
- 態度の指導について常に意識できるように、「学習の約束」を作成し掲示する。
- 事前に「〇〇探検」から想起される場面イメージをアンケートで採り、「場面一覧」として動きで表現する前に掲示する。
- アンケートの中から「イメージカード」を作成しグループに1セットもたせる。

- 児童がよい動きを行うためのポイントがわかるように、「表現・ダンス動きの一覧表」を作成し、活用する。
 - 児童の心と体が十分にほぐれてから「〇〇探検」に入れるように、ウォーミングアップで日南市小体連が作成したわくわく運動を授業の始めに毎時間行う。
 - 学習カードに「学習の振り返り」の欄を設けて、自己の課題解決ができるようにする。
- (2) 友達との「かかわり」を大切にした学習
- 気に入った場面に「はじめとおわり」を付けた話の流れを書き込めるようにホワイトボードをグループに1つもたせる。
 - グループの友達と協力して活動できるように、単元の前半は生活班で行い、後半は表現したい探検別にグルーピングを行う。
 - 友達のよい動きを見付け自分の踊りに取り入れられるように、毎時間授業の後半部分に「見せ合う」時間を設けるとともに、学習カードに「ひと言メッセージ」の項目を設ける。
- (3) 教師との「かかわり」を大切にした学習
- 教師のヒントを得ながらも児童が進んで活動できるようにする。
 - 児童から多様な動きが引き出せるように、よい動きについては積極的に取り上げ肯定的な言葉かけを行う。

6 単元の評価規準 (●当該学年、・当該学年以外、◎2学年共通)

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ●表したい感じを表現したり踊りの特徴を捉えたりして踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現運動に進んで取り組もうとしている。 ●運動の行い方のきまりを守り、友達と励まし合って練習や発表、交流をしようとしている。 ・運動する場の安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎表現の動きのポイントを知るとともに、自分に合った課題や題材を選んでいる。 ●よい動きを知るとともに、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表現では身近な生活などの題材からからその主な特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせたり繰り返したりして踊ることができる。

<p>学習活動に即した評価規準</p>	<p>①「〇〇探検」の表現運動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②運動の行い方のきまりを守ろうとしている。</p> <p>③友達と励まし合って、誰とでも楽しく踊ろうとしている。</p>	<p>①「〇〇探検」のイメージから、多様な場面や特徴的な動きをいろいろ見付けている。</p> <p>②気に入った「〇〇探検」の表したい感じを知るとともに、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。</p>	<p>①「〇〇探検」からいろいろなイメージをとらえ、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。</p> <p>②表したい「〇〇探検」の場面を中心に変化のある動きをつなげ「はじめとおわり」をつけた動きにして感じを込めて踊ることができる。</p>
---------------------	--	---	---

8 本時の学習 (4 / 6) (1) 本時の目標 ○ 友達とまじって誰とも楽しく踊ることができるようにする。(態度)③ (2) 本時の評価項目 ○

時間	1	2	3	4(本時)	5	6
学習の段階	「〇〇探検」の様子や場面の特徴をとらえて、ひと流れの動きで即興的に踊る。					
小テーマ	オリエンテーション	海底探検	宇宙探検	ジャンプ探検	好きな探検と場面を選び「はじめと終わり」をつけた動きにして踊る	
	1 学習課題の確認 2 心と体をほぐす 3 アンケート結果から出た「〇〇探検」の場面を確認する。	1 心と体をほぐす 2 学習課題の確認		1 心と体をほぐす 2 学習課題の確認		
	ねらい	【ねらい①】 いろいろな探検のイメージを即興的に踊ろう		【ねらい②】 表現したい探検の様子が表れるように動きを工夫して踊ろう		
	学習活動	4 単元全体の学習の進め方を知る。 5 イメージの中からいくつか選んで即興的に踊る。 6 感想を出し、学習の見直しをもつ。	3 イメージカードをもとに、小テーマの特徴的な場面や動きをみんなで作ってみる。 4 グループで小テーマから好きな場面を選び「はじめと終わり」をつけたひと流れの動きにして即興的に踊る。 5 一番気に入ったひと流れの動きを見せ合う 6 学習のまとめをする	3 気に入った場面を選び「はじめと終わり」をつけて踊る。 グループ練習のポイント ・感じの異なる動きや急変する動き ・対立する動き ・繰り返し	4 見せ合って感想を伝え合う。 4 発表会をする。	
評価の観点	①(観察)	②(観察)	③(観察・学習カード)	②(観察・学習カード)	②(観察・学習カード)	②(観察・学習カード)
関心 意欲 態度						
思考 判断		①(観察・学習カード)				
技能		①(観察・学習カード)				

友達と励まし合って誰とでも楽しく踊ろうとしている。

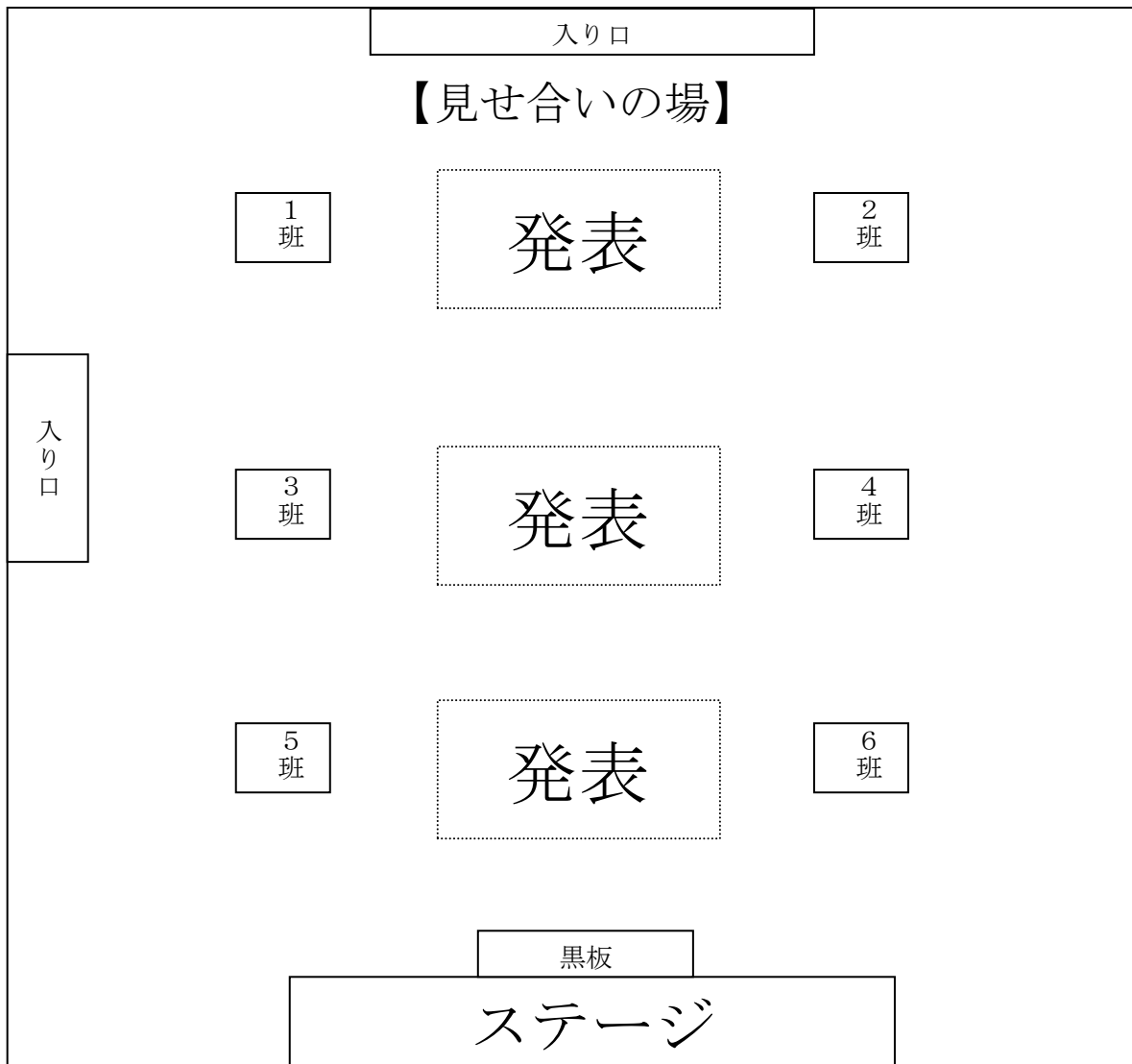
(関心・意欲・態度③)

9 指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	○評価項目 【Aの例】 (評価方法)	努力を要する状況と判断される児童の手立て
はじめ (10)	1 ウォーミングアップをする。 ○ わくわく運動 2 本時の学習課題の確認	○ 友達と交流することで心と体をほぐすことができるようにする		○ 学習の約束を示し全員が授業に臨めるようにする。
友達とアイデアを出し合ってジャングル探検を楽しく踊ろう				
なか ① (10)	3 ジャングル探検の特徴的な場面や動きをみんなでやってみる。 ○ しげみを分け入って ○ グラグラ本橋を渡る ○ 宝を探そう	○ 教師のリードでイメージカードを使って即興的に踊らせる。 ○ イメージカードや題材にあったBGMや効果音を用いて児童を踊りやすくさせる。		○ グループにひとセットの「イメージカード」や「表現・ダンス動きの一覧表」を提示することで、児童が題材に合った踊りを考えられるようにする。
なか ② (20)	4 グループごとにジャングル探検をひと流れの動きで踊る。 ○ グループでの話し合い ○ ひと流れの動きの練習 ○ 鑑賞したグループの表現についての話し合い 5 全体でいくつかの班の表現のよさについて気付いたことを伝え合う。	○ 動きながらイメージカードの気に入った場面をグループで1枚(なか)選ばせる。 ○ 「はじめとおわり」を入れた話になるようにホワイトボードにまとめさせる。 ○ 「表現・ダンス動きの一覧表」を参考に練習させる。 ○ グループ同士でひとまとまりの表現を鑑賞し、他のグループの多様な動きのよさに気付かせる。 ○ 教師に意図的に取り上げられたグループに表現を発表させる。	○ 友達と励まし合い助け合って踊っている。 (観察・学習カード)	
ま	6 学習を振り返り、まとめる。	○ 本時でできるようになっ		

と め (5)		たことや気付いたことなどを振り返り、次時への意欲を高める。		
---------------	--	-------------------------------	--	--

10 場の設定



「〇〇探検」学習カード

月 日 ()

4年 組 名前 ()

1 学習をふりかえって

◎よくできた ○できた △もう少し

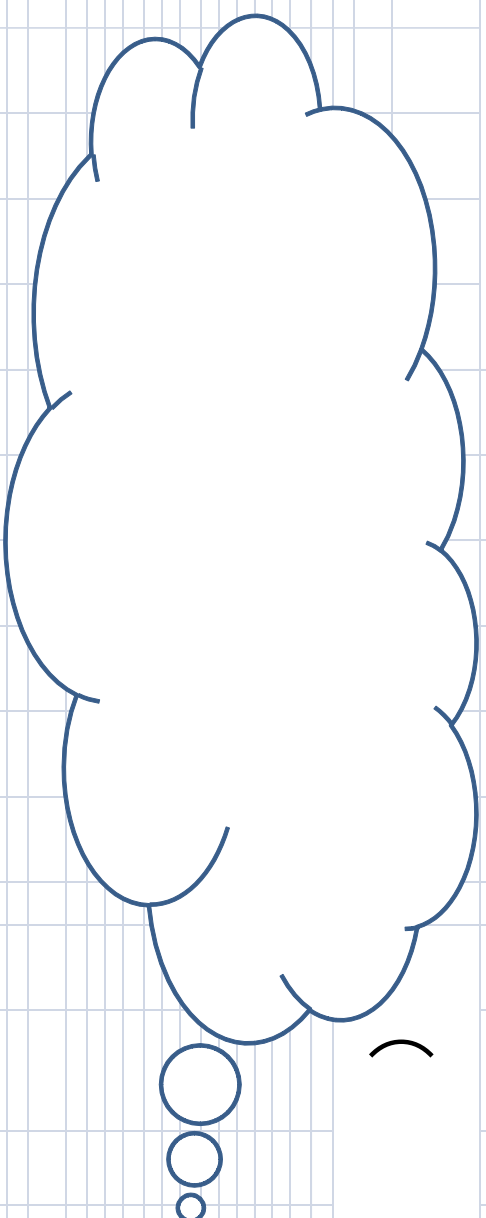
☆ 学習の約束を守ることができましたか。

☆ 友達とはげまし合って、楽しくおどることができましたか。

☆ 表したい場面がよくわかるように工夫することができましたか。

☆ イメージしたものであった動きを表現することができましたか。

2 ひと言メッセージ



() さんへ